

日光自然博物館の自然解説員とは？

博物館の自然解説員？ それってどんな仕事？

そんなあなたのために、日光自然博物館の「自然解説員」のお仕事をご紹介します。



奥日光全景

○フィールド

奥日光は日光国立公園の一部です。日光市のいろは坂を登った標高1200mを越える地域で川、沢、滝、湖沼、草原、湿原、森林、そして周辺を取りまく山岳など様々な環境で成り立っています。

地域内には様々な景勝地があり、ハイキングコースも整備されていることや、標高の高い地域なので夏は冷涼で冬が厳しく、同じ場所でも四季それぞれで様々な表情をみせることもあり、この良好な自然を楽しむために一年を通して多くの人々が訪れる地域です。

この奥日光全体が私たち日光自然博物館のフィールドです。

○自然解説員とは？

自然解説員の仕事は調査研究、資料の収集保管を行う学芸員の仕事とは異なり奥日光を訪れる人々に自然解説を行うことです。

私たちの仕事は様々な自然を伝えることで世の中の人々が自分と自然との関わりを考え、よりよく自然と生きてゆくためのきっかけを作ってゆくことを目指す環境教育活動です。その目標の達成のために、自然解説員は単なる知識の伝達にとどまらず、相手に合わせた様々な自然体験を提供する活動を行っています。

○なにをしているの？

「自然観察会の企画立案、実施」や「団体向けの自然ガイドやレクチャー」「自然情報センターでの日光の自然や自然公園の利用に関する情報の提供」「常設展示の案内」などがあげられますが、これが全てではありません。ブログやツイッターの更新、展示物の作成など様々な手段によって自然を伝えます。

○大切にしたいこと

この仕事には、あらゆる機会を利用して自然を伝えようという熱意が必要です。さらには仕事の質を高めるために、積極的に野外に出て自らの自然に対する思いを深めようという姿勢や常に新しいものを作り出そうとするチャレンジ精神なども求められます。

さらには、奥日光の環境や周辺の動植物などに対する知識や野外活動のノウハウを身につけることも必要です。



○自然解説員の一年

- ・4月 新年度スタート
- ・5～7月 春の修学旅行シーズン(ガイド業務繁忙期)
- ・8月 夏休みイベント等
- ・9月～10月 秋の修学旅行シーズン(ガイド業務繁忙期)
- ・11月～12月 繁忙期の振り返り、積雪期イベントの準備
- ・1月～2月 積雪期イベント、次年度事業の企画等
- ・3月 次年度へ向けての準備

現在、自然解説員の業務の大半を占めているのがガイド業務です。このガイド業務は主に修学旅行で奥日光を訪れる小学校団体を対象としているので、修学旅行のハイシーズンは繁忙期となります。この期間が自然解説員にとって一番忙しい時期ですが、こうした忙しさの中では気がつくただ仕事をこなすだけになりがちです。

そんな忙しさに流されずに頑張れる人を期待します。

○写真で見る自然解説員の仕事



学生対象のガイド

説明ばかりでなく、触る、食べるなどの体験も盛り込みます。規定のプログラムではなく、現場の旬の自然を活かした活動を各解説員ごとに組み立てています。



出張レクチャー

1時間程度のレクチャーを宿泊先のホテルなどに出向いて行います。活動前の事前レクの場合とハイキング後の事後レクの場合があります。



自然観察会

「観察会」とはいても知識を伝えるだけでなく、様々な自然体験を提供するイベントを様々な季節、場所、対象で展開しています。

当日申込可能な数時間の短いものから、事前予約制の一日イベントまで幅広い活動を企画しています。

定番イベント

- ・戦場ヶ原春のガイドウォーク
- ・戦場ヶ原ナイトハイキング
- ・オオワシ・オジロワシをさがそう！
- ・親子で雪の運動会
- ・スノーシューで雪の森へ など





**自然情報センター
カウンター業務**

戦場ヶ原の入口に位置する赤沼自然情報センターも管理しています。ここで来訪者に対して自然情報やコースの情報等を提供しています。

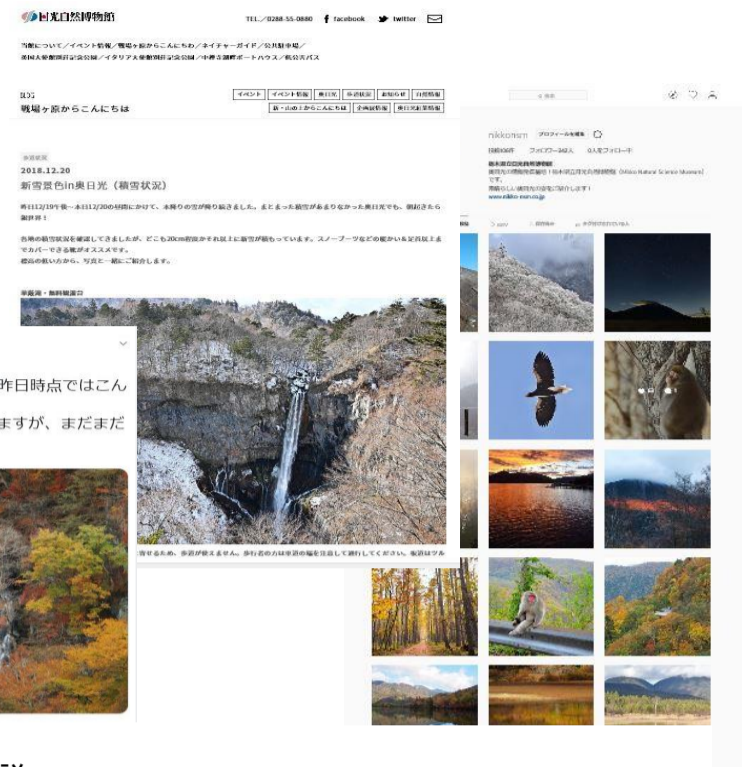


デスクワーク

自然解説員とはいえ、野外での仕事ばかりではなく、ガイドの打ち合わせやイベントの企画などのデスクワークも意外とあります。必要に応じて、ミーティングも行っています。

自然情報の収集・発信

時間があれば、どんどんフィールドへ出て自然情報等を集めます。魅力的な情報発信のための写真撮影も重要な仕事です。収集した情報は速やかにブログやツイッター、インスタグラムなどで発信しています。



「モノ」を介した自然解説

利用者に対面で行う自然解説ばかりでなく、企画展示や自然情報コーナー展示物の作成などを通じた「間接的な自然解説」も行います。企画展については展示パートの担当だけでなく、立案から準備全般を自然解説員主体で行う場面もあります。



自然解説員研修

OJTで行う日常的な自然解説(インタープリテーション)研修に加えて、クロスカントリースキの技術研修や通常のガイドで扱わないような場所を使った研修、解説員の相互研修など「奥日光の自然のプロ」にふさわしい技術・知識を身につける各種研修を実施しています。



○最後に

自然解説員として働くにはいろいろと要求されることもありますが、最初から全てを満たしていなくても大丈夫。いっしょに働きながらステップアップしてゆきましょう！



株式会社 日光自然博物館
 栃木県日光市中宮祠2480-1
 tel 0288-55-0880 fax 0288-55-0850
 E-mail info@nikko-nsm.co.jp
 www.nikkko-nsm.co.jp